

1

2 新型コロナウイルス感染症に関する最近の動向について

3

2021年4月7日

4

日本医師会 定例記者会見

5 【感染の再拡大について】

6 新年度が始まりました。政府が昨年4月7日に初めての緊
7 急事態宣言を発令して、1年が経過します。

8 感染の再拡大が全国的に起こっています。第4波というよ
9 り、第3波のリバウンドと言えるかもしれません。

10 緊急事態宣言を先行解除した大阪府の感染の再拡大は凄
11 まじいものです。本日は、800人以上とのことでした。

12 3週間遅れで宣言を解除した首都圏1都3県やその周囲
13 でも、感染者の急増が間近に迫っていると考えるべきです。

14 新型コロナウイルス感染症が日本に襲来して一年が過ぎ
15 ましたが、二つの理由で、これまでで最大の危機です。

16 第一に、国民の皆様がコロナに慣れつつあり、自粛という
17 我慢の限界にあること、第二に、感染力が強い変異株が主体
18 になりつつあることです。

19 早急に、昨年の最初の緊急事態宣言時のように国民の中に
20 危機感、緊張感を呼び戻さなければなりません。当時は、デ
21 パートや大きな商業施設なども休止しました。その結果、ロ
22 ックダウンされたかのように街から人影が消えました。そし
23 て、一応の収束を迎えることが出来ました。広範囲の休止要
24 請が事の重大性を喚起していたのだと思います。

25 政府におかれては、国民の皆様は今以上に強いメッセージ

1 の発信をお願いします。

2

3 **【まん延防止等重点措置】**

4 4月5日に宮城県、大阪府、兵庫県の3府県に「まん延防
5 止等重点措置」が適用されました。5月5日までの予定で、
6 対象は、仙台、大阪、神戸、西宮、尼崎、芦屋の6市です。

7 東京都からは今のところ、「まん延防止等重点措置」の要請
8 はありませんが、直近1週間の新規患者数の移動平均は上昇
9 傾向がつづいており、予断を許さない状況です。

10 全国的にも、病床使用率や1週間の感染者数の移動平均が
11 前の週を上回り、ステージ3に相当する地域が増えています。

12 現在、医師会、病院団体、全国の医療機関では、コロナ医
13 療と日常診療を両立させ、各地域の医療提供体制の面として
14 の機能を強化するため、退院基準の周知徹底や、後方支援医
15 療機関の拡大、通常医療の一部を別の病院が肩代わりするな
16 どの調整を進めています。しかし、入院中の一般患者さんの
17 転院には、綿密な調整が必要であり、一気に進むわけではあ
18 りません。医師会は、自宅、宿泊療養の患者さんの急増に伴
19 い、健康観察や薬の処方などにおいても、全面的に協力して
20 いますが、人的、物的資源には限界もあります。このまま感
21 染者の増加が続けば、さらに医療提供体制が逼迫することを
22 避けられません。

23

24 現在は、次の緊急事態宣言が発令されるかどうかというギ
25 リギリの段階にあると考えます。再び私たちの生活が制約さ

1 れかねません。

2 日本医師会は、そのような事態を避けるべく、医療提供体
3 制の確保については機能分化、連携を確認しつつ面として体
4 制強化を進めながら、そのうえで、国民の皆さんに、引き続
5 き感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。
6 繰り返します。「万全の感染防止対策こそが結果的に最強の
7 経済対策です。」

8

9

10

11 【変異株】

12 各地で変異株が検出され、感染者数の増加のペースが上が
13 っています。現在、関西で広がっているのは、イギリスなど
14 で報告されている、感染力が強いとされる「N501Y」です。
15 また東京都や宮城県では、「E484K」が検出されており、この
16 影響を注視しなければなりません。

17 東京都では今のところ変異株検査の割合が低いこともあ
18 り、確認された変異株は多くはありませんが、いずれ東京都
19 でも広がりはじめることが懸念されます。変異株については、
20 診療や対応がこれまでとまったく同じで良いのかどうか、未
21 知数の部分もあります。その意味でも、感染防止対策の徹底
22 が必要です。

23

24

25

1 【ワクチン接種について】

2 ワクチンについては、来週から高齢者の接種が始まります。
3 一部の地域では接種の予約の受付もはじまりました。

4 医療従事者の接種は2月17日からはじまっていますが、
5 4月6日時点で1回目の接種が終わった方は約2割です。来
6 週から高齢者の接種が始まりますが、接種者として集団接種
7 に出向いたり、個別接種に対応したりする多くの開業医が、
8 自分自身の接種を受けることができていません。徒手空拳で
9 いくさに向かう状況です。先日3月16日に、河野大臣から
10 接種者たる医師は、個別接種、集団接種の前に優先してワク
11 チン接種が可能であるとのお言葉をいただいていたが、
12 あらためて本日、この件を確認しました。医師をはじめ医療
13 従事者は優先して接種可能であるとのことです。これは都道
14 府県、市町村にもご周知いただく予定です。

15 また、河野大臣に、ワクチンの供給量が十分確保されてい
16 ることも確認しました。接種スケジュールには、まだ決まっ
17 ていない部分もあります。また、来週の高齢者接種の予約が
18 取れずに不安に思われる方もいらっしゃると思います。しか
19 し、来週以降、相当量のワクチンが配送される予定です。必
20 ず順番が回ってきます。日本医師会としても8月末をめどに
21 接種が完了できるように現場と調整してまいります。

22 ワクチン接種にあたっては予診票を記載する必要があります。か
23 かりつけ医で個別接種する場合はもちろん、集団接
24 種の場合も、あらかじめご相談いただければ、かかりつけ医
25 が予診票の書き方などのお手伝いをします。

1

2

3 新型コロナウイルスとの闘いは続きます。ワクチンという
4 武器が加わりました。日本医師会は全国の皆様とともに終息
5 の日が一日でも早く来るように頑張っまいます。

6 よろしくお願ひいたします。

7

8

9

10

11